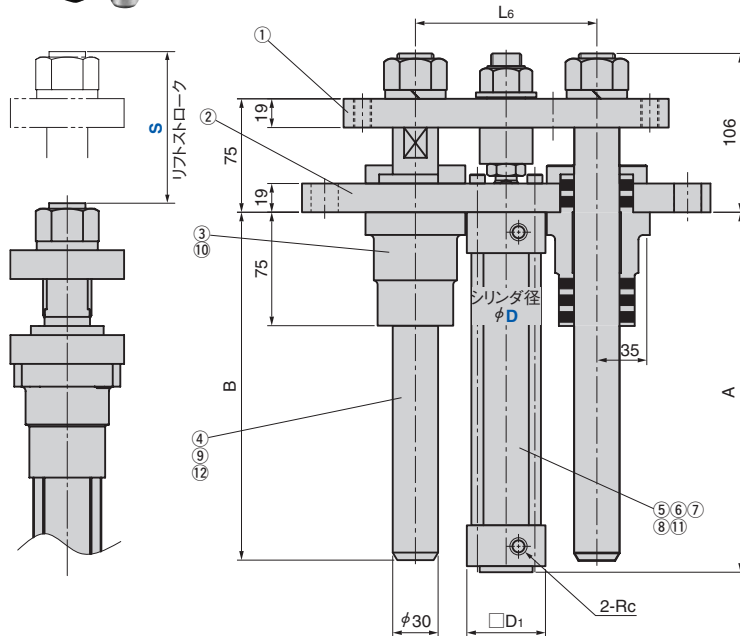
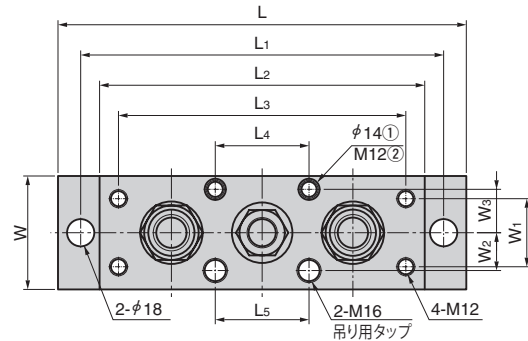


H型リフタ コンパクトタイプ

H-TYPE LIFTER

HLSGC

CAD
FILE



No.	名称	数	材質/備考
1	リフタプレート	1	Steel
2	シリンダホルダプレート	1	Steel
3	ガイドホルダ	2	SO#50F
4	ガイドピン	2	Steel
5	エアシリンダ	1	SMC製(φ40) SMC製(φ63)
6	ジョイント	1	Steel

No.	名称	数	材質/備考
7	六角穴付ボルト	4	M6 (D=40) M8 (D=63)
8	U ナット	1	M20
9	U ナット	2	M24
10	六角穴付ボルト	4	M12x35
11	平ワッシャ	1	M20
12	スプリングワッシャ	2	M24

Catalog No.	シリンダ径 D	リフト ストローク S	A	B	Rc	D1	L	L1	L2	L3	L4	L5	L6	W	W1	W2	W3
	40	50	138	130	1/4	52	270	240	215	190	66	60	120	75	45	25	28
		75	163	155													
		100	188	180													
		125	213	205													
		150	238	230													
		175	263	255													
HLSGC	40	50	148	130	3/8	75	290	260	235	215	96	70	145	90	70	30	32
		75	173	155													
		100	198	180													
		125	223	205													
		150	248	230													
		175	273	255													
	63	175	273	255	3/8	75	290	260	235	215	96	70	145	90	70	30	32
		200	298	280													
		225	323	305													
		250	348	330													
		275	373	355													
		300	398	380													

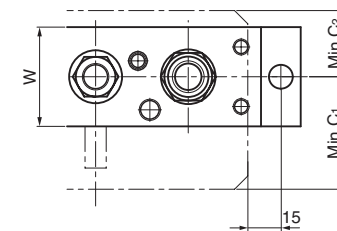


Order

Catalog No. D - S
HLSGC 40 - 150

■ご使用にあたって

シリンダの実働出力 空気圧力0.5MPa φ40: 約600x0.7=420N φ63: 約1,500x0.7=1,050Nです。
取付けのための鋳抜き寸法は下図を目安としてください。



D	W	C1	C2
40	75	85	50
63	90	95	60

H型リフタ【概要】

OUTLINE OF H-TYPE LIFTER

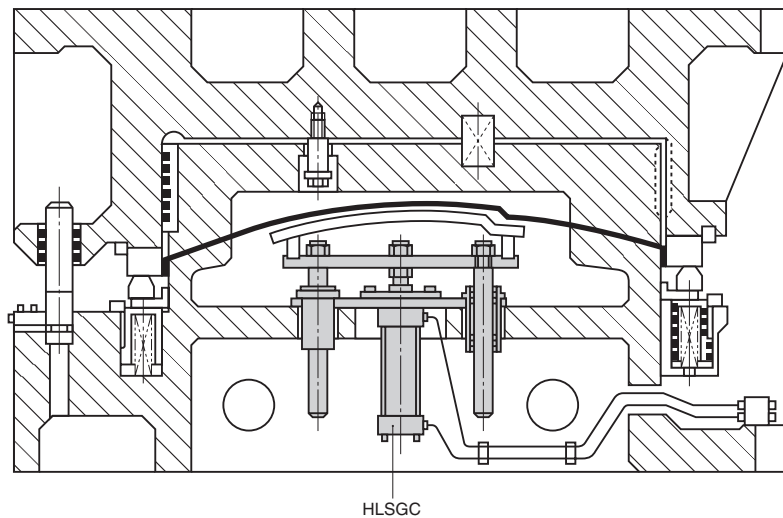
H型リフタとは

パネルのリフトアップに安定した機能を発揮する、空気圧利用のH型リフタです。

■特長

- ・堅ろうな構造のユニットで、安定したリフトアップ機能を持ち、長期にわたって無給油で使用することができます。
- ・リフトアップのストローク長さも、10~300mmまでと、幅広くとりそろえています。
- ・スライド部はガイドポストタイプで、無給油化を図っています。
- ・小物パネルから大物パネルまでリフトアップに用いることができるよう、豊富な種類をとりそろえています。

■使用例

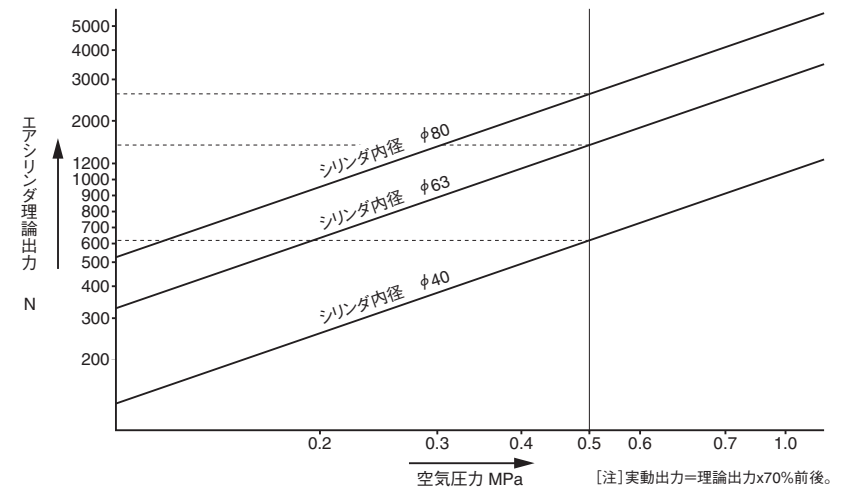


■H型リフタの規格選定手順例

所要リフトアップ力が、1000Nで所要ストロークが95mmのH型リフタを求める場合。

- 手順1** エアシリンダ理論出力は、 $1000\text{N} \div 0.7 = 1430\text{N}$ 。右上グラフで理論出力の1430Nをとる。一方、工場の空気圧力が0.5MPaである場合にその交点を求めると、シリンダ内径はφ63となり、HLSGT63-S(ストローク)となります。
- 手順2** HLSGT63-S(ストローク)の中でパネルをリフトアップする所要ストロークが95mm以上のものは、S=100mm。従って、HLSGT63-100となります。

●空気圧力とシリンダ出力

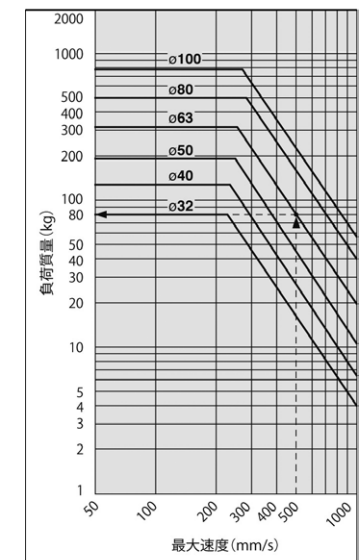


■ご使用にあたって

負荷質量によりシリンダロッドが破損する恐れがありますので、グラフ値内で使用してください。また、速度制御のため、スピードコントローラの使用を推奨します。

ストロークが長い場合、パネルの位置決めでの使用は推奨しません。精度が必要な場合は、別途ガイドを設定してください。

許容運動エネルギー



例) φ63のエアシリンダを最大速度500mm/sで動かすときのロッド先端負荷制限を求める。グラフの横軸500mm/sより上に延長しチューブ内径63mmのラインとの交点を左に延長し負荷80kgが求められます。